

特別講義プログラム

衛 紀 生 氏 ミュージックコミュニケーション特別講義

1. 日 時 : 2019年 11月 25日(月) 17:00 ~ 18:30

2. 場 所 : D号館101教室

3. 対象学生(必修): ミュージックコミュニケーション専攻生

4. 講 師 紹 介 : 衛 紀 生 氏

早稲田大学中退後、虫プロダクション企画演出課に勤務。ほぼ同時に演劇批評家として雑誌「新劇」等に連載を始める。70年代後半、山崎哲、渡辺えり子、北村 想、竹内銃一郎らをいち早く評価して「第三世代」のネーミングマスターとなる。80年代後半からBSエンターテイメント・ニュースの演劇キャスターを務め、93年に地域演劇の振興と演劇環境の整備を目的に舞台芸術環境フォーラムを設立。早稲田大学文学部講師。県立宮城大学事業構想学部・大学院事業構想学研究科客員教授を経て現職。現在、芸術文化振興基金運営委員会委員 地域文化・文化団体活動部会 部会長、長岡芸術文化振興財団アドバイザーのほか、十数地域の自治体文化行政にかかわる一方で、文化庁、財団法人地域創造などの委員を務め、あわせて日本照明家協会賞舞台部門、ニッセイバックステージ賞等の審査委員を務める。平成28年度 芸術選奨文部科学大臣賞受賞(芸術振興部門)

著書『芸術文化行政と地域社会』『これからの芸術文化政策』『阪神大震災は演劇を変えるか』
『21世紀のアートマネジメント』『地域に生きる劇場』など。

5. 講 義 概 要 :

音楽や演劇などの表現を用いて地域連携や社会包摂に力を入れている
可児市文化創造センター。
本特別講義では、その館長であり、地域文化や自治体や行政文化振興の
プロフェッショナルである衛 紀生氏をお呼びし、文化芸術と地域社会との
関係とその課題等について具体的なお話を伺う。

担当部会: ミュージックコミュニケーション部会